

## <特集>

# GIGAスクール構想

## ～1人1台端末の活用～

— はじめに —

本県では、GIGAスクール構想の実現へ向けて、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に1人1台端末と併せて高速通信ネットワークの整備が進められています。1人1台端末はクラウドサービスを活用することが前提となります。県内で主に利用されるクラウドサービスは、Google社が提供する「Google Workspace for Education™（以下 Google Workspace）」やMicrosoft社が提供する「Office365」等です。今年度から多くの学校で実践がスタートするにあたり、1人1台端末でどのようなサービスを使用し、どのような実践を行えばよいのか不安を感じている先生方が多いのではないのでしょうか。

今回のinfo! ながさき30号では、GIGAスクール構想における1人1台端末の活用について特集しています。本号に掲載している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校での活用事例が県内の先生方の一助となることを願っています。

## クラウドサービスの概要

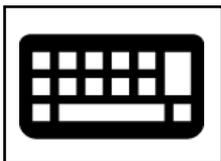
高速通信ネットワークが整備されると、インターネット上の「クラウドサービス」を利用しやすくなります。ここでは、代表的な2つのサービスを取り上げ、機能の概要について紹介します。

| サービスの機能概要                    | Google Workspace  | Office365  |
|------------------------------|---|--|
| 掲示板機能による情報の一斉提示やグループの編成      | <br>Google Classroom™  | <br>Teams       |
| インターネット上にファイルを保存するオンラインストレージ | <br>Google ドライブ™       | <br>OneDrive    |
| 文書作成                         | <br>Google ドキュメント™     | <br>Word        |
| 表計算                          | <br>Google スプレッドシート™   | <br>Excel       |
| プレゼンテーション                    | <br>Google スライド™      | <br>PowerPoint |
| ビデオ会議、画面共有                   | <br>Google Meet™     | <br>Teams     |
| アンケートや小テスト、ファイルの回収           | <br>Google フォーム™     | <br>Forms     |
| デジタルノート、デジタルホワイトボード          | <br>Google Jamboard™ | <br>OneNote   |

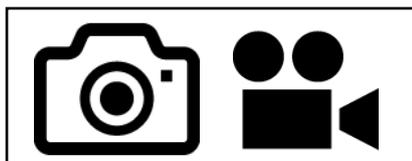
※iPad を使用する場合は、上表のサービスの機能を有したアプリの活用も想定されます。

## 学習者用端末の主な機能

GIGA スクール構想では、以下のような機能を備えた端末が整備されます。これらの機能を活用したり、あるいは各種クラウドサービスと併用したりすることで、様々な学習において活用することができます。



キーボードによる文字入力



カメラ機能による静止画・動画撮影



持ち運びしやすいサイズ



画面タッチ



音声認識

## 1人1台端末&クラウドサービス・アプリの活用例

1人1台端末&クラウドサービス・アプリを併用することで、一斉、個別、協働学習の各学習場面において、以下のような学習活動を行うことが可能になります。

※ここでの一斉、個別、協働学習とは、「学びのイノベーション事業」（文部科学省）で示された学習場面のこと

### 一斉

| 学習活動                               | 想定されるサービス・アプリ・機能                            |
|------------------------------------|---|
| 画面共有機能で提示された資料をもとに課題を把握する。         | Google Meet、Teams                           |
| オンラインストレージ上の動画を共有することで興味・関心を高める。   | Google ドライブ、OneDrive                        |
| アンケートに回答し、結果を共有することで課題を自分ごととして捉える。 | Google Classroom、Teams<br>Google フォーム、Forms |
| フラッシュカード(スライド教材)で学習内容を確認する。        | Google スライド、PowerPoint                      |

### 個別

| 学習活動                          | 想定されるサービス・アプリ・機能                              |
|-------------------------------|---|
| インターネットを利用して調べ学習を行う。          | Google Chrome™、Microsoft Edge 等の Web ブラウザ     |
| 小テストを行い、学習内容の定着度を把握する。        | Google Classroom、Teams<br>Google フォーム、Forms   |
| 本時の振り返りを記録し、学習履歴を蓄積する。        | Google ドキュメント、Word<br>Google Jamboard、OneNote |
| オンラインストレージ上の師範動画を共有し、個別学習を行う。 | Google ドライブ、OneDrive                          |

### 協働

| 学習活動                             | 想定されるサービス・アプリ・機能                                |
|----------------------------------|---|
| オンラインストレージ上のファイルを共有し、考えや意見を共有する。 | Google ドライブ、OneDrive<br>Google Jamboard、OneNote |
| 共同編集機能を用いて成果物の同時編集を行う。           | Google スライド、PowerPoint                          |
| 掲示板機能を用いてワークシートや作品等を共有し、意見交換を行う。 | Google Classroom、Teams<br>Google ドライブ、OneDrive  |
| カメラ機能を用いて動画を撮影し、良い点や不十分な点を話し合う。  | カメラ機能（学習者用端末）                                   |

#### 【次ページ以降の活用事例について】

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校における学習場面ごとの活用事例を掲載しています。校種を超えて汎用的に参考になる事例となっています。

なお、小学校、中学校の活用事例は、関連する活用動画を本センターWebサイトに準備しています。2次元バーコードとURLを記載していますので、お手持ちの端末でアクセスして、御視聴ください。※Google Workspace を用いた事例は、Office365でも実践することができます（逆も同様）。

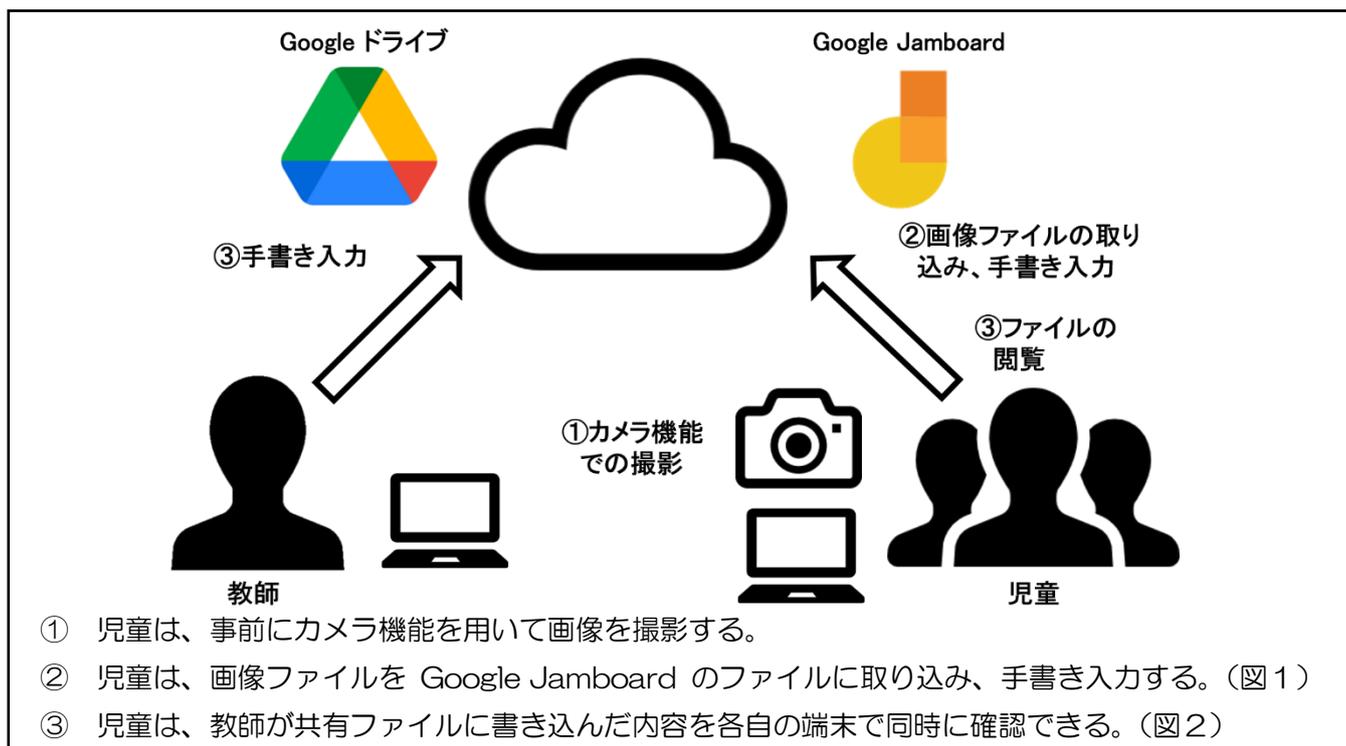
# デジタル観察記録の作成

Google Jamboard を用いて、観察記録のデジタル観察記録（ポートフォリオ）を作成することができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google Jamboard
- Google ドライブ

## サービス・アプリの活用イメージ



## メリット

- 児童は、端末を利用して容易に撮影、記録及び閲覧できる。
- 教師は、記録したファイルを学習の振り返りや評価に利用できる。
- 教師は、共有ファイルに書き込むことで、焦点化を図ることができる。

関連動画はこちら！



[https://youtu.be/XduBd4z\\_xww](https://youtu.be/XduBd4z_xww)

# アンケート機能を用いた理解状況の把握

アンケート機能付きのワークシートを用いることで、教師は児童の理解状況を把握した授業を展開できる。

## 使用サービス・アプリ

- Google フォーム（アンケート機能付きワークシートの作成）
- Google スプレッドシート
- Google Classroom（ストリーム：フォームファイルの投稿）
- Google ドライブ

## サービス・アプリの活用イメージ

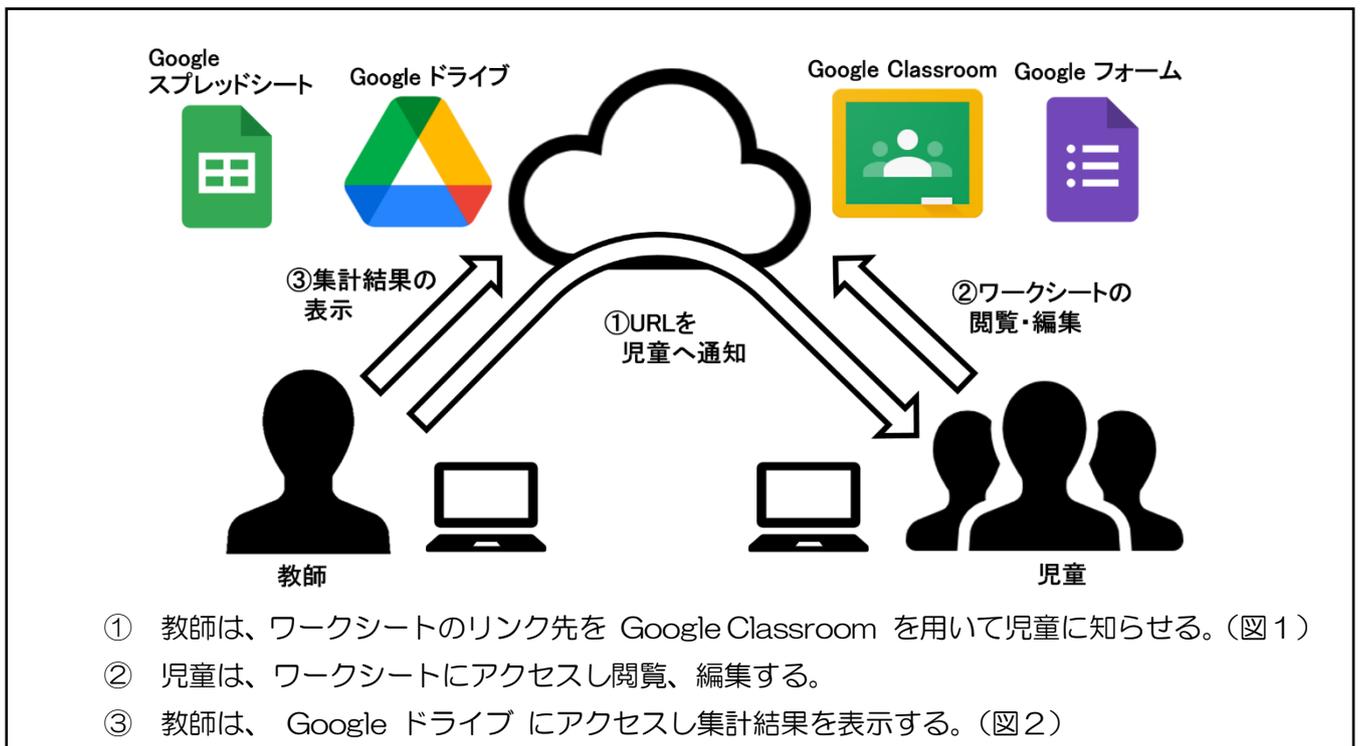


図1



図2

## メリット

- 表やグラフ等、教材作成に要する時間を短縮できる。
- アンケート型のワークシートを用いることで、短時間で児童の理解状況を把握し、意図的な指名につなげることができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/nhqQb-D37gY>

# コメント機能を活用した共有の学習

作成したデータを閲覧し合い、コメント機能を活用することで、感想などを共有することができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ（動画ファイルのアップロード）
- Google スライド（データの作成 コメント機能の活用）

## サービス・アプリの活用イメージ

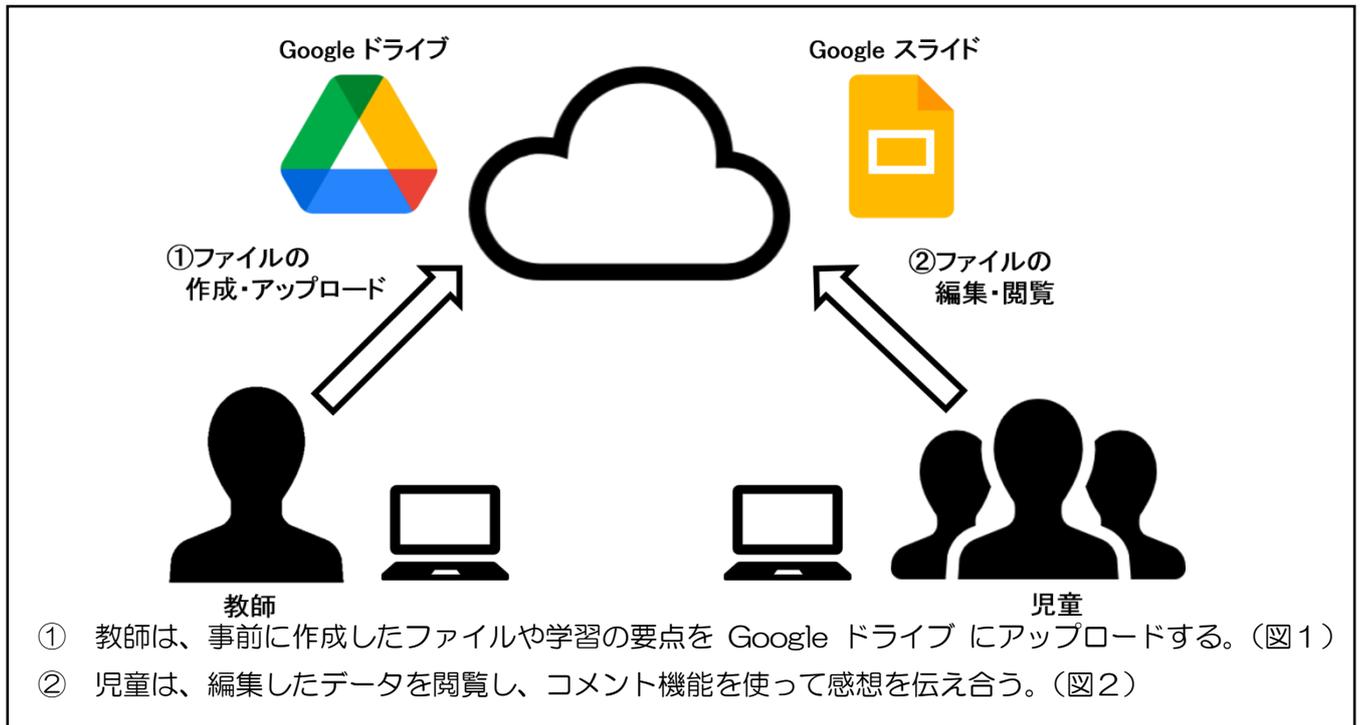


図1



図2

## メリット

- 児童は学習の要点を共有した上で、感想を伝え合うことができる。
- 児童は、お互い感じたことを伝え合うことでよさや課題に気づき、表現力を向上することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/0SLH4tfoQk0>

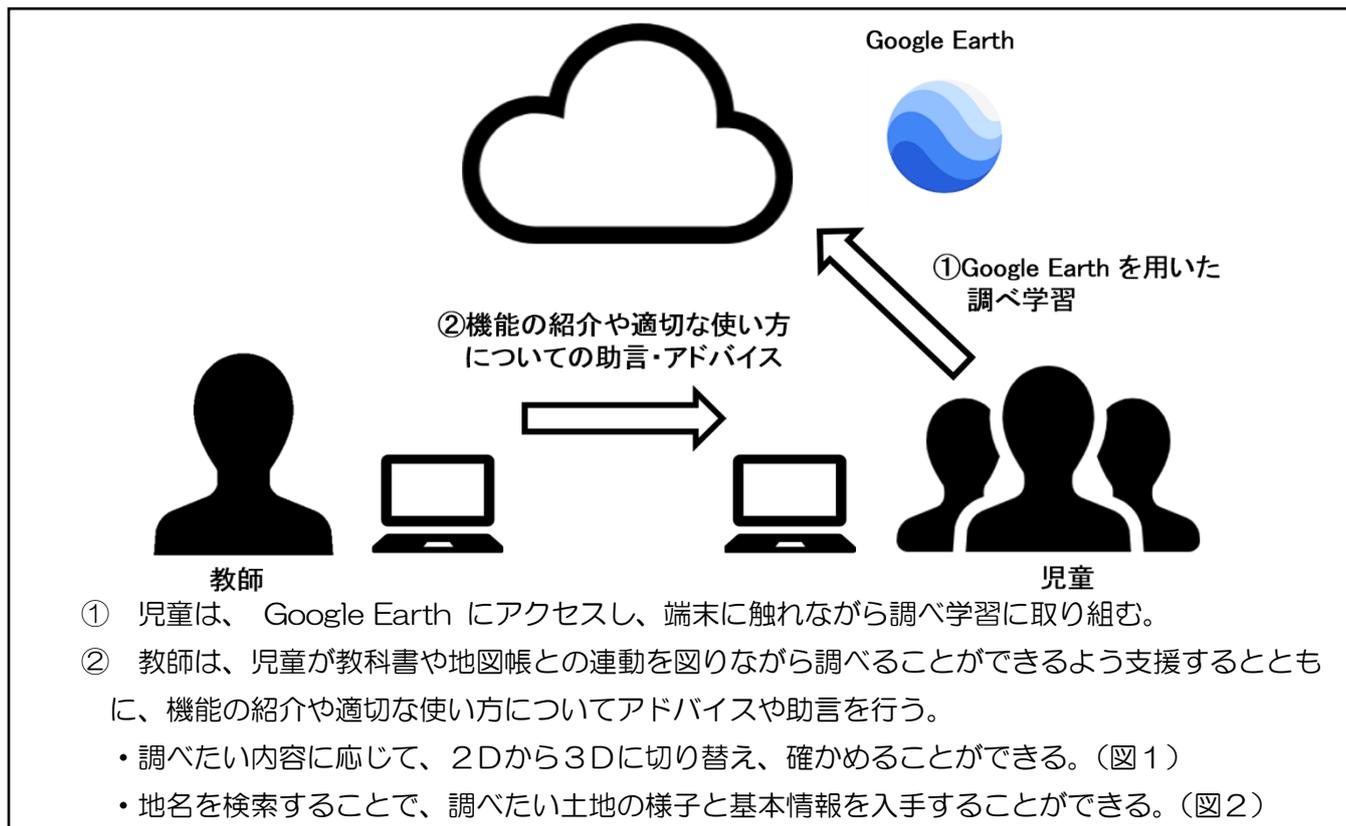
# バーチャル地球儀システムを用いた調べ学習

Google Earth™ と教科書や地図帳との連動を図り、調べ学習の充実を図る。

## 使用サービス・アプリ

- Google Earth (バーチャル地球儀システム)

## サービス・アプリの活用イメージ



### 【2Dから3D 機能への切り替え】



図1

### 【検索機能】



図2

## メリット

- 3D機能を用いて、国土の様子を立体的に捉えることができる。
- 検索機能を用いて、国土の広がりや特色について、ピンポイントで調べることを通して、実感を伴いながら理解することができる。

関連動画はこちら！



[https://youtu.be/cbmt3xpD-\\_Y](https://youtu.be/cbmt3xpD-_Y)

# 画像ファイルを用いた情報の共有

児童が描いたイメージ図を画像として共有し、閲覧し合うことで対話を充実させることができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ（画像ファイルのアップロード）
- Google スライド（互いのイメージの共有）

## サービス・アプリの活用イメージ

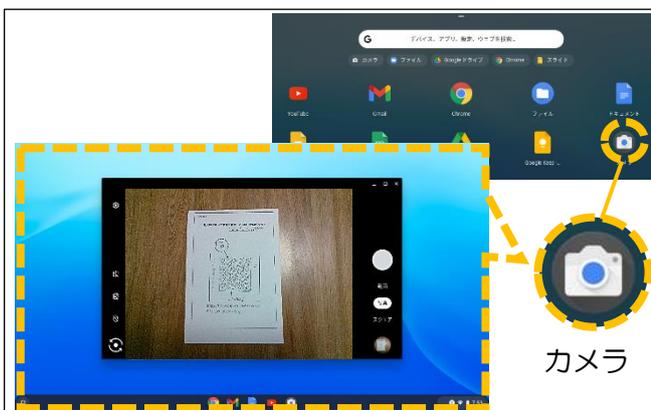
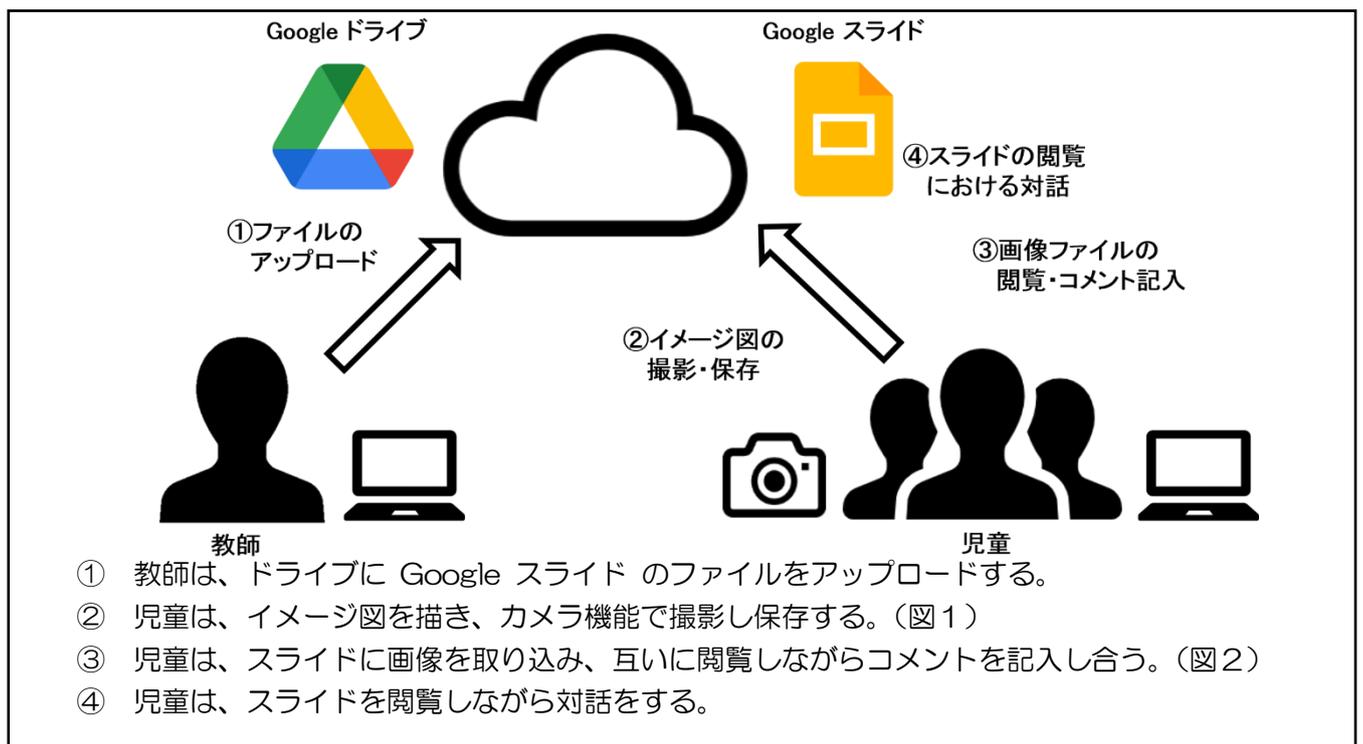


図1



図2

## メリット

- 児童は、紙面に描いたイメージ図をカメラ機能で撮影し保存するため、ノートへの蓄積とデータの共有の両立が可能になる。
- 児童は、級友のイメージ図やコメントを手元で閲覧できるため、自分の考えとの比較が容易になり、対話による学びの深まりが期待できる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/JKohunkjHvg>

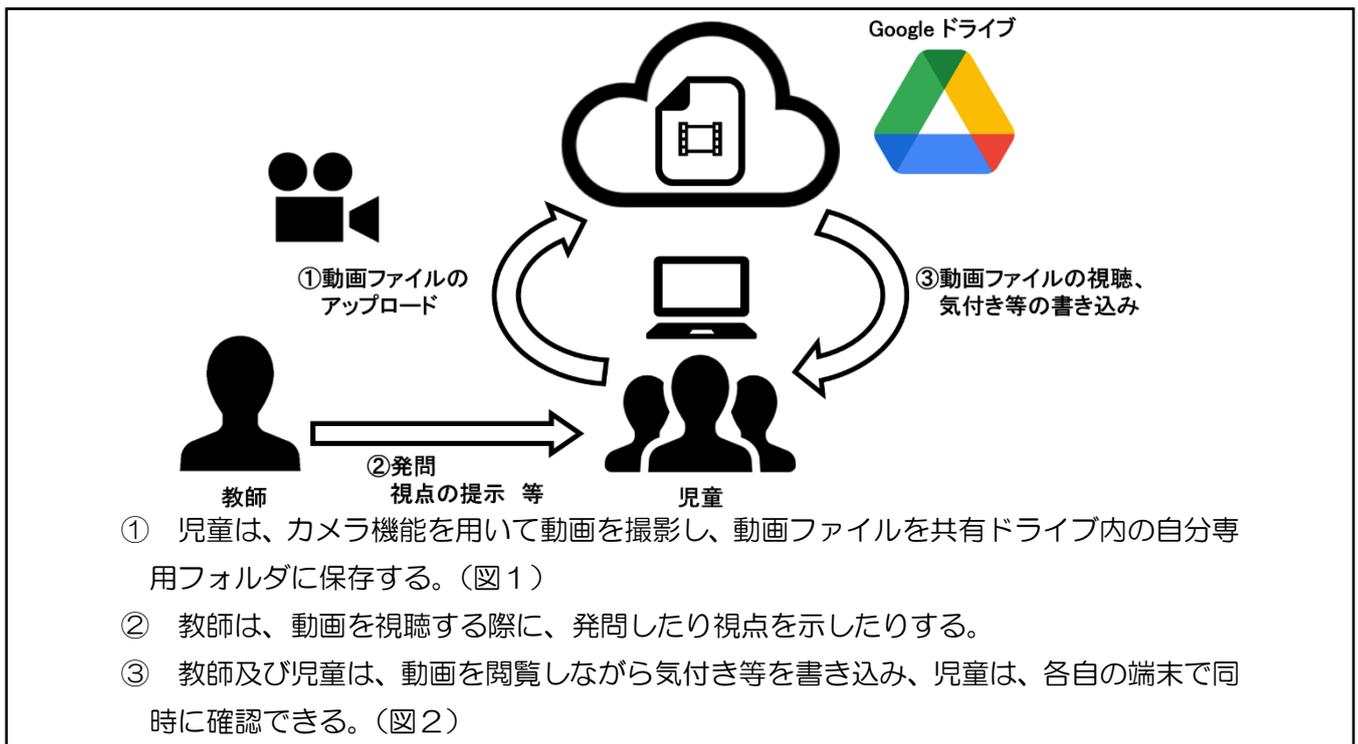
# 動画ファイルを用いたコミュニケーション活動

児童は、コミュニケーションの場면을撮影した動画を視聴しながら相互評価を行い、自分のコミュニケーションに生かすことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ（動画ファイルのアップロード）

## サービス・アプリの活用イメージ



### 端末内蔵カメラでの動画の取り込みイメージ



図1



図2

## メリット

- 児童は、多様なコミュニケーションの在り方に瞬時に触れることができる。
- 児童は、自己もしくは他者評価することを通して、自己のコミュニケーションの在り方を改善することができる。
- 教師は、児童の変容や成果を適宜評価することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/AJ3PM8XyF98>

## 児童の経験や考え等を把握するアンケートを活用した学習

教師が作成したアンケートを実施・回収し、その結果を素早く提示することで、児童は、問題や課題の捉え方が多様であることを実感することができる。

### 使用サービス・アプリ

- Google フォーム（ファイルの回収機能付きアンケート（小テスト）用アプリケーション）
- Google Classroom（掲示板機能による情報の一斉提示やグループの編成のアプリケーション）

### サービス・アプリの活用イメージ

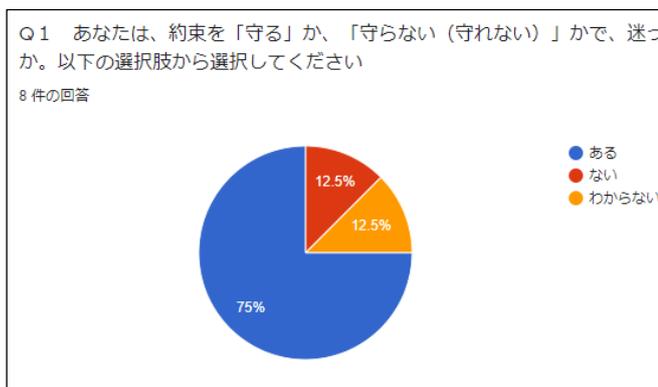
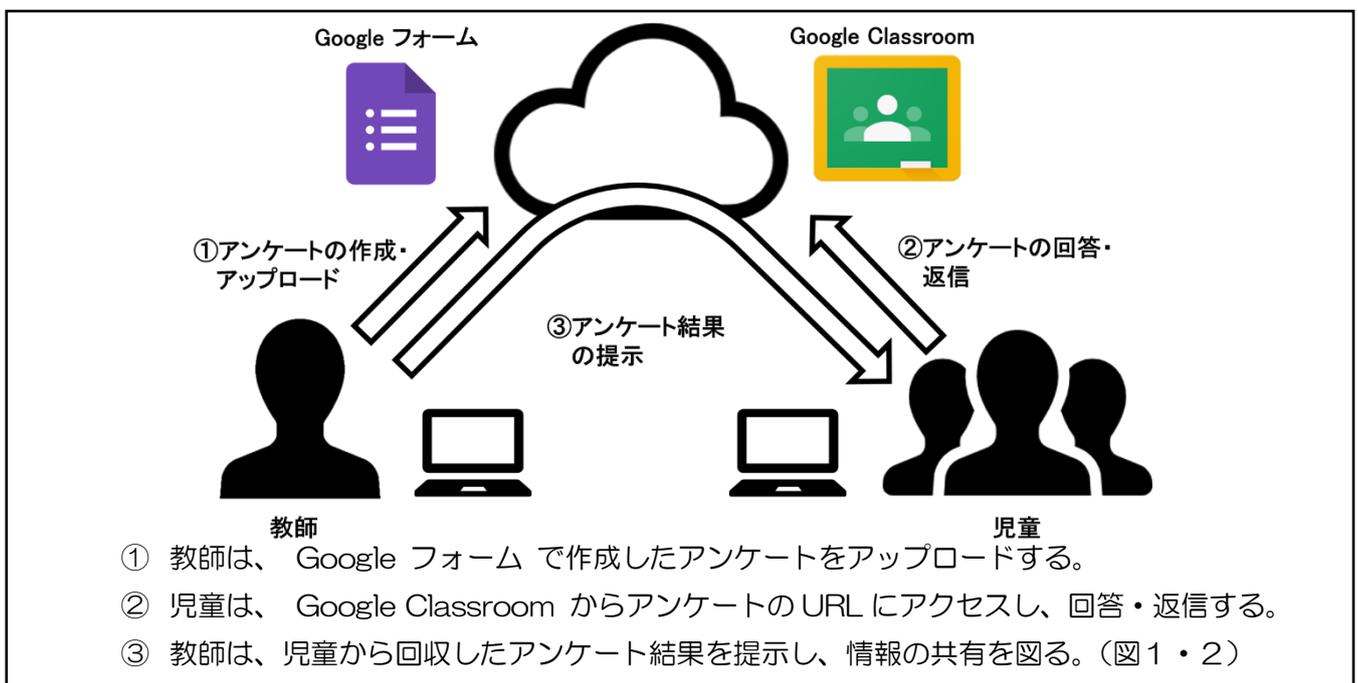


図1（選択肢回答グラフ）

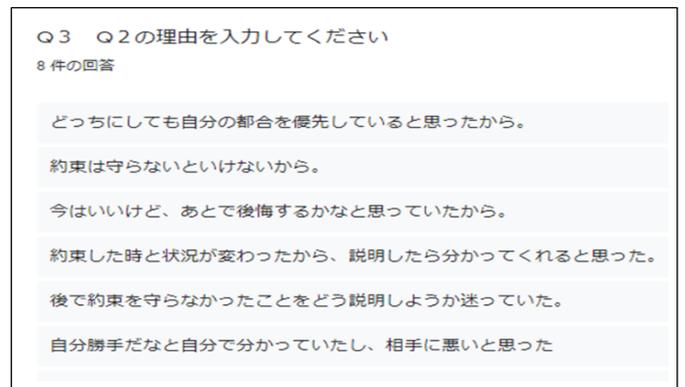


図2（記述式回答）

### メリット

- 児童は、授業の冒頭でアンケートに回答することで、自身の経験を振り返ったり、仲間の考えや感じ方を共有したりすることができる。
- 児童は、アンケート結果を授業の途中でも見直すことができ、道徳的価値に対する自身の感じ方の変化を感じ取ることができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/nveInc2pSwE>

# Google Jamboard を用いた資料活用の学習

教師が作成した資料活用に関する課題に取り組ませることで、生徒は読み取る資料や視点を確認できる。

## 使用サービス・アプリ

- Google Jamboard (ファイルの編集)
- Google ドライブ (ファイルのアップロード、つますきの把握)

## サービス・アプリの活用イメージ

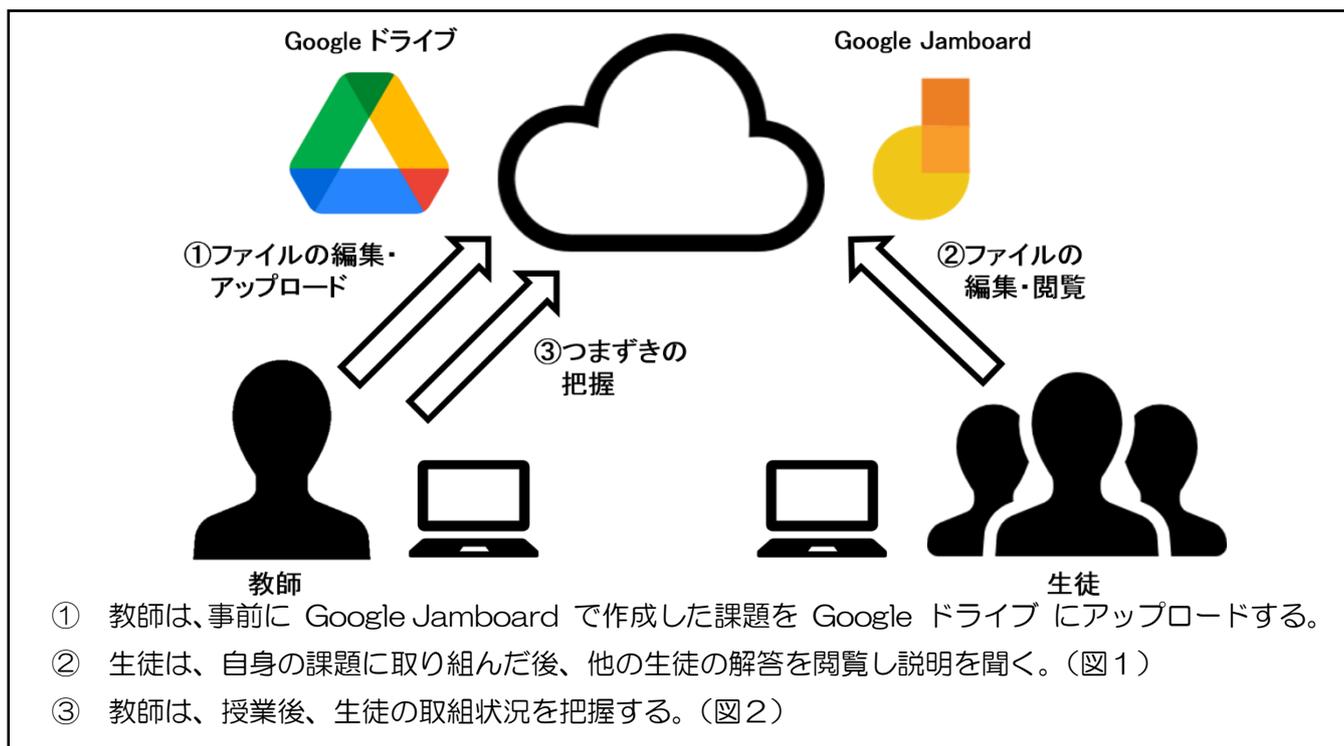


図1

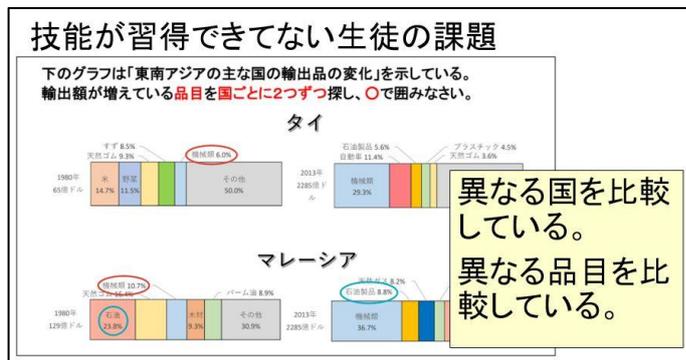


図2

## メリット

- 生徒に読み取らせたい資料を提示することができる。
- 資料を読み取る視点を焦点化することができる。
- 技能の習得が不十分な生徒の学習改善につなげられる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/2LkkGAx8frg>

# 動画ファイルを用いた作図の学習

教師が事前に撮影した動画（作図）を視聴しながら、生徒は作図の練習を行うことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ（動画ファイルのアップロード）

## サービス・アプリの活用イメージ

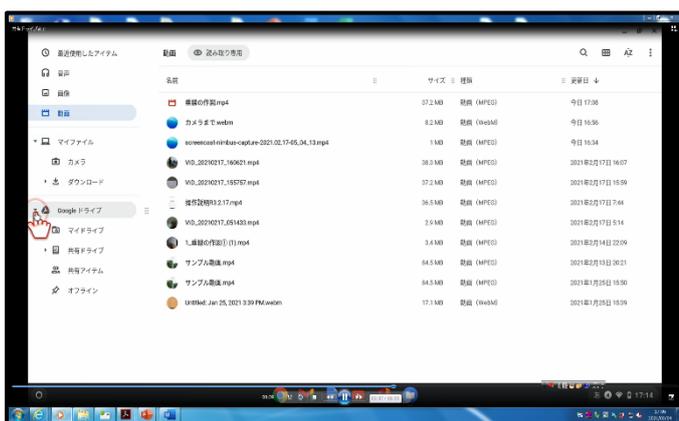
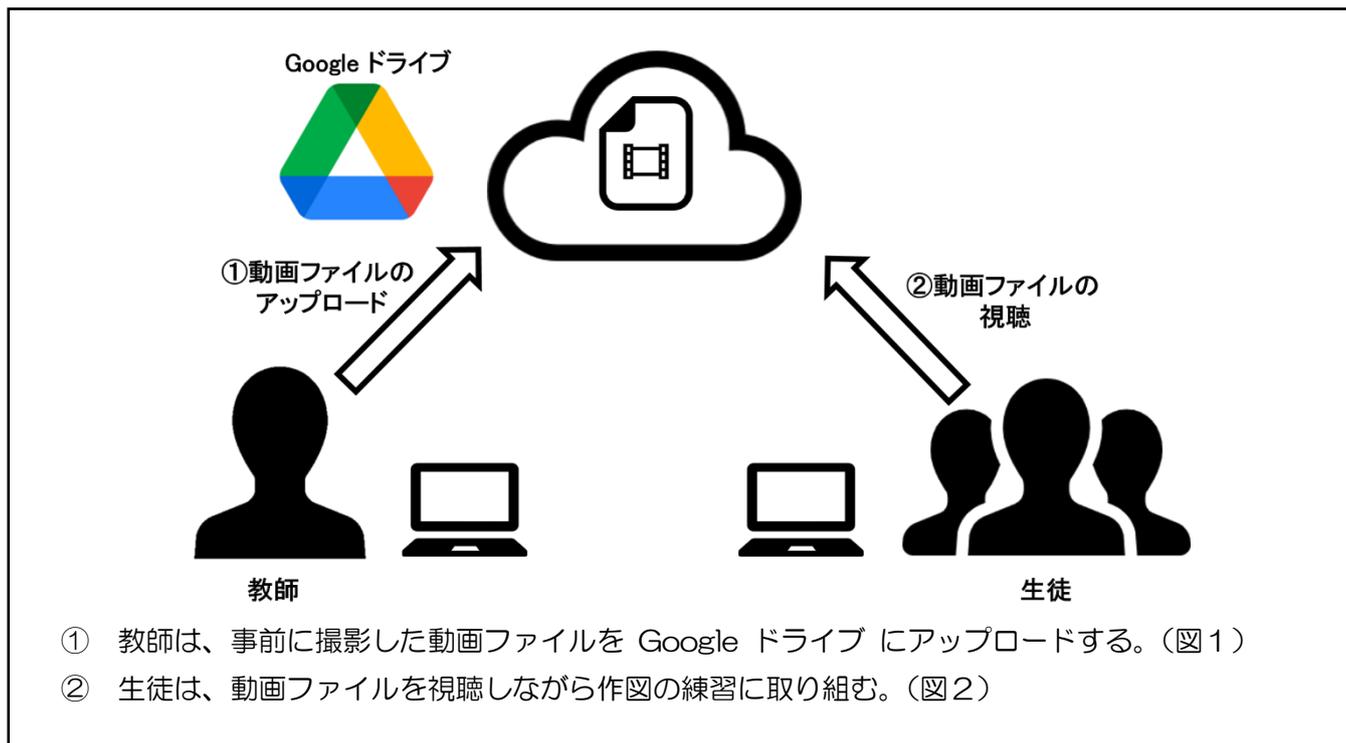


図1

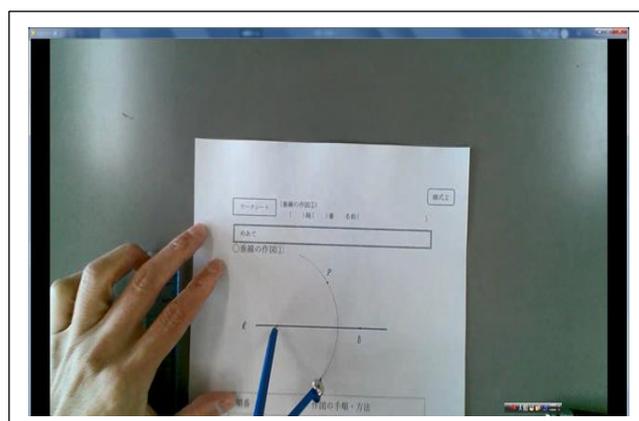


図2

## メリット

- 生徒は、習熟度に応じて動画を視聴しながら学習に取り組むことができる。(繰り返しの視聴等)
- 生徒は、家庭でも動画を視聴することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/Lm1RgFBXnS0>

# 動画ファイルを用いた技能習得の学習

生徒が撮影した動画（ガスバーナーの操作）を視聴しながら、技能習得の学習を行うことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ（動画ファイルのアップロード）

## サービス・アプリの活用イメージ

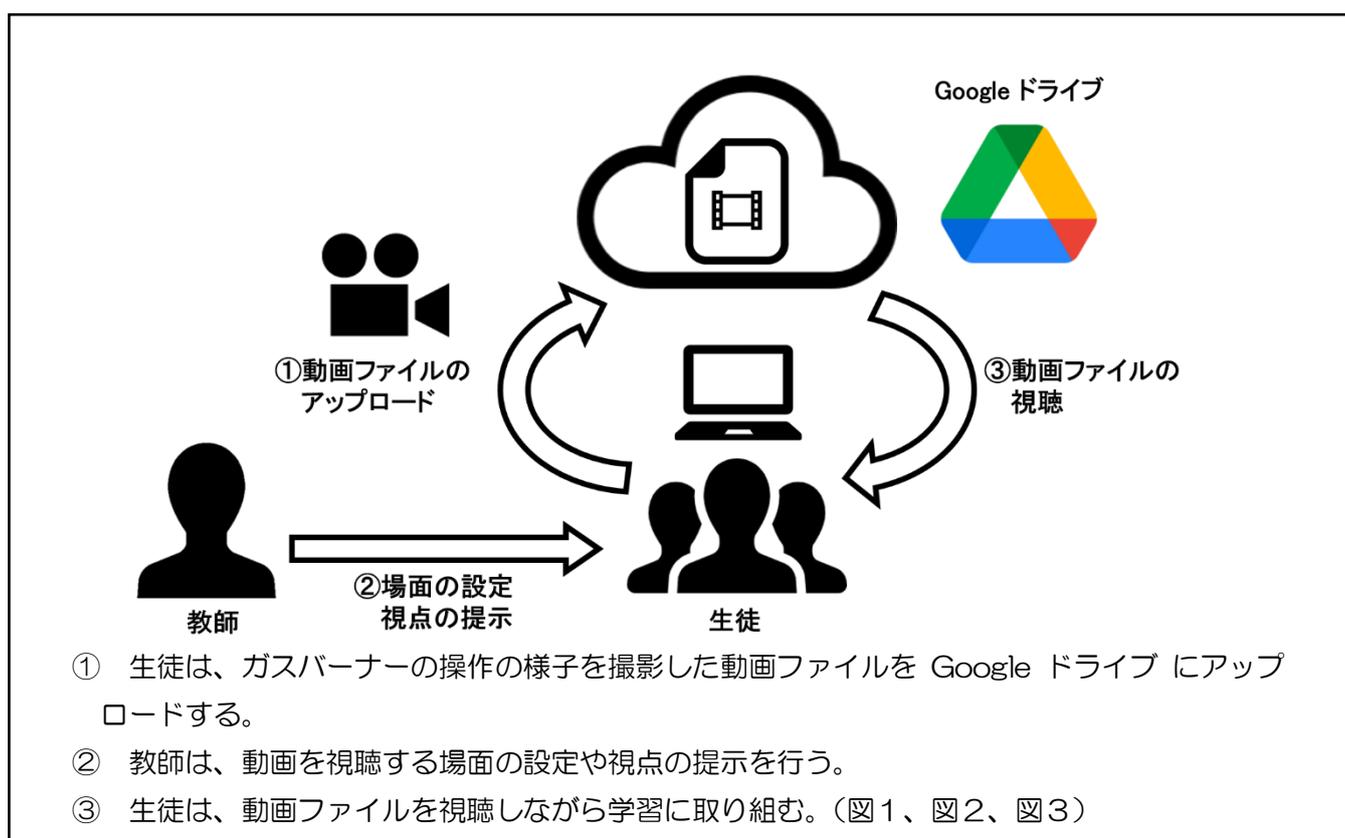


図1

図2

図3

## メリット

- 「操作する生徒」は、客観的に自分の現状を捉えることができる。
- 撮影した動画を「操作する生徒」と「観察する生徒」が一緒に視聴することで、客観的事実を基に手順や動きを指摘できるため、対話的な学習を促進できる。
- 「操作する生徒」は、客観的に自分の変容を捉えることができる。

関連動画はこちら！



[https://youtu.be/kzl1yyX\\_wig](https://youtu.be/kzl1yyX_wig)

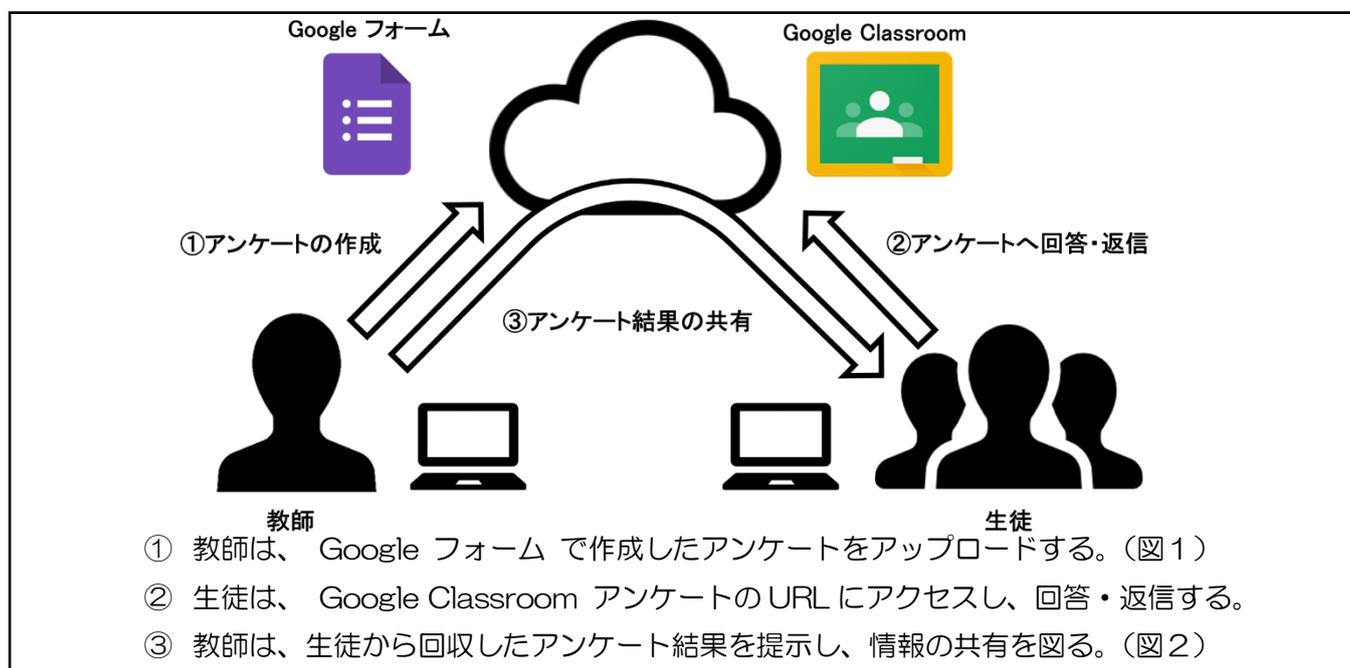
# アンケートを活用し級友の考えを共有する学習

教師が作成したアンケートを基に、生徒は道徳的価値に対する自身の経験を振り返り、現在の自分の考えに気付いたり、級友の考え方や捉え方が多様であることを把握したりする学習活動が短時間でできる。

## 使用サービス・アプリ

- Google フォーム（ファイルの回収機能付きアンケート（小テスト）用アプリケーション）
- Google Classroom（掲示板機能による情報の一斉提示やグループの編成のアプリケーション）

## サービス・アプリの活用イメージ



名前を入力してください。\*

記述式テキスト（短文回答）

私は生きていることに感謝の気持ちをもっている

とてもそう思う

そう思う

あまりそう思わない

全くそう思わない

図1（アンケート）

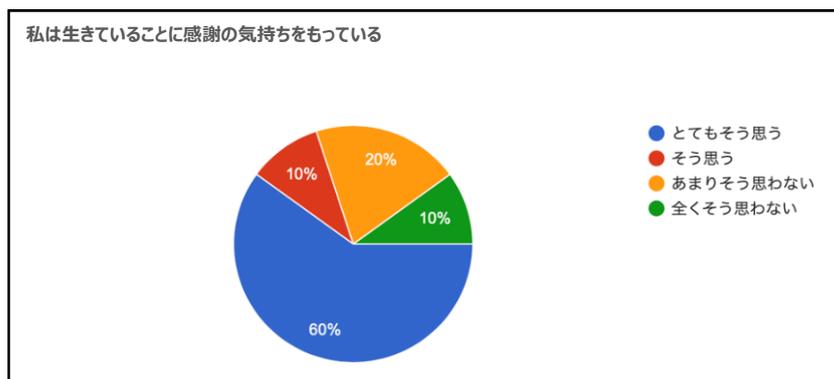


図2（選択肢回答グラフ）

## メリット

- 生徒は、道徳的価値に対する級友の考えや感じ方を視覚的に共有することができる。
- 生徒は、授業中に複数回アンケートに回答することで、道徳的価値に対する自分や級友の考え方の変化を視覚的に把握することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/dnNYLOZZkdE>

# スライド教材を用いた元素記号の学習

教師が事前に作成したスライド教材を用いて、生徒は主体的・効率的に反復学習を行うことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google スライド（プレゼンテーション用アプリケーション）
- Google ドライブ（クラウドストレージ：データの保存）

## サービス・アプリの活用イメージ

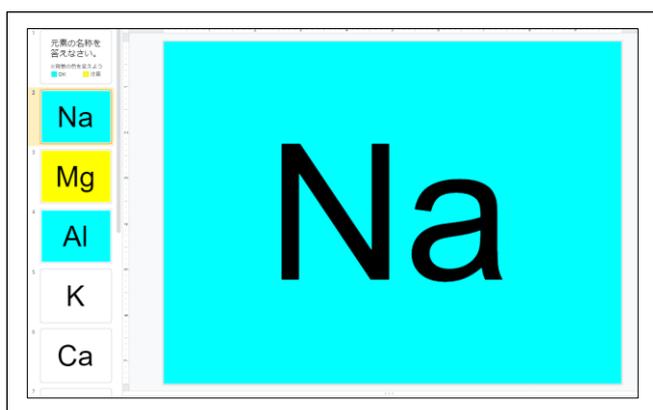
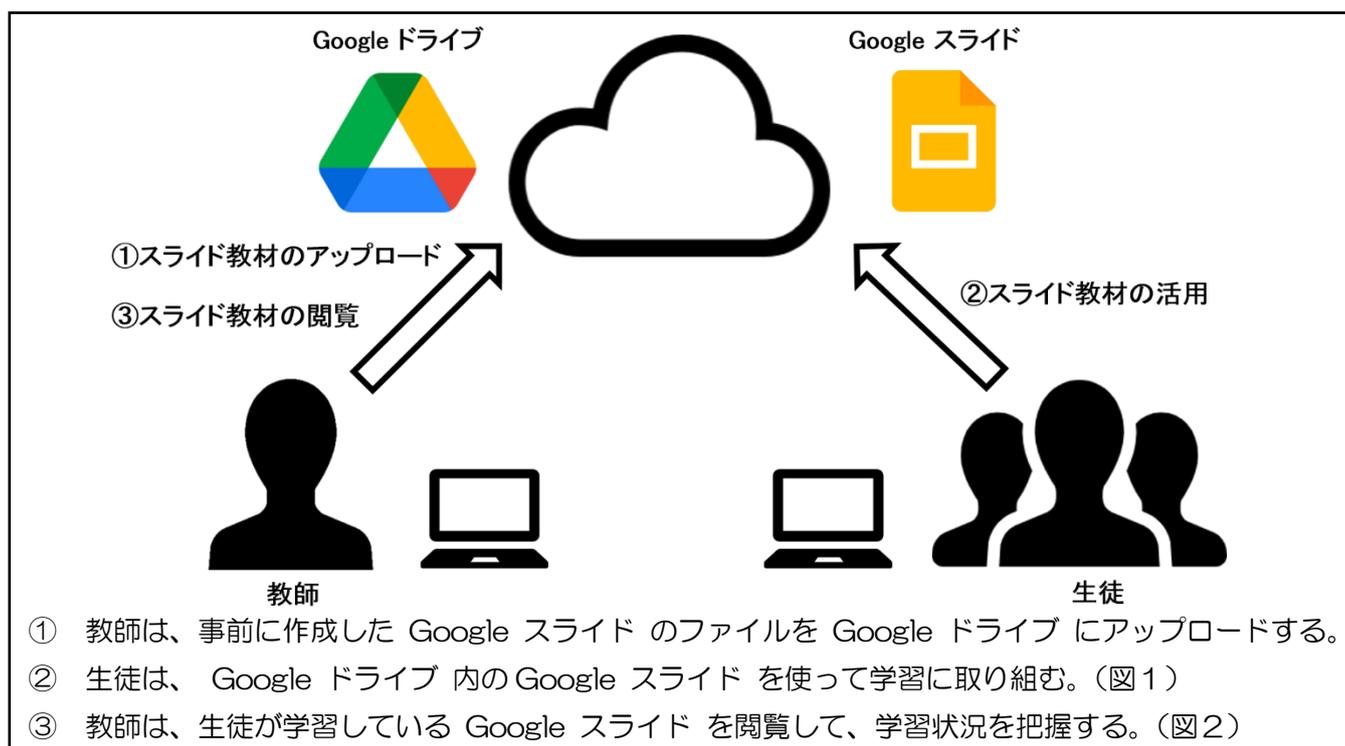


図1

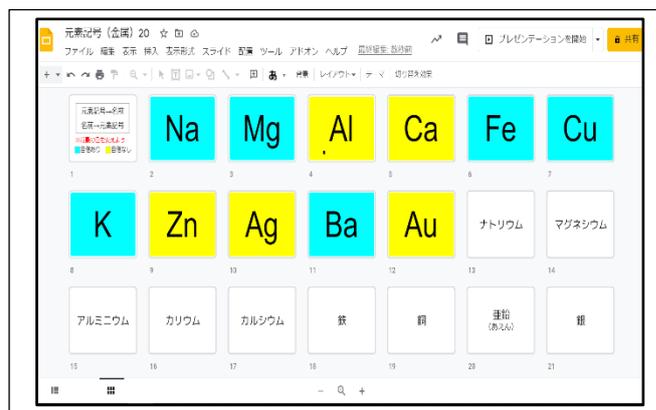


図2

## メリット

- 生徒は、知識が定着するまで繰り返し学習できる。
- 生徒は、スライド教材の背景色や表示順を工夫して効率的に学ぶことができる。
- 教師は、生徒の学習状況を把握することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/14SPfouIcdw>

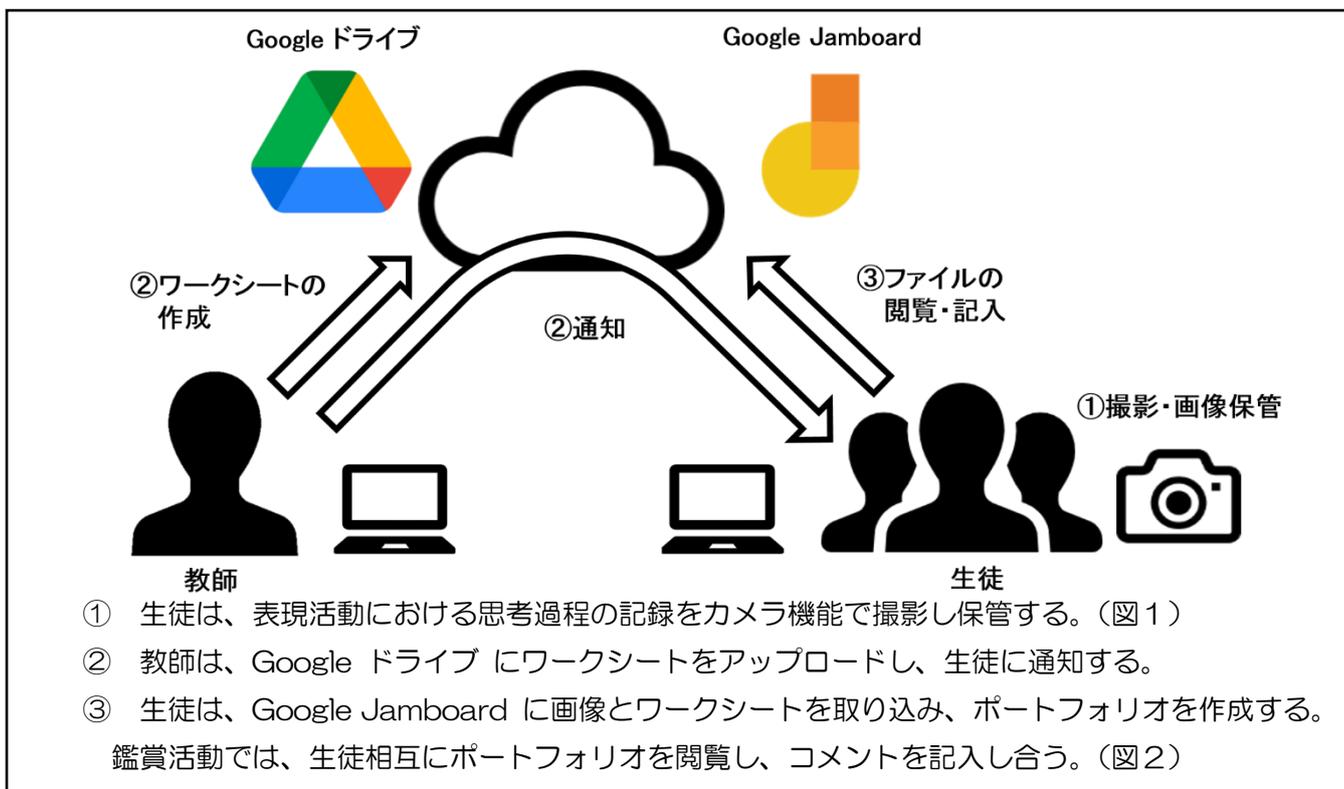
# ポートフォリオ (Google Jamboard) を用いた鑑賞活動

生徒が撮影した画像を基にポートフォリオを作成し、生徒間で共有しながら鑑賞活動を行うことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドライブ (画像ファイルのアップロード)
- Google Jamboard 又は Google スライド (学びの過程の記録・管理)

## サービス・アプリの活用イメージ



## メリット

- 多様な媒体で表出される思考過程を画像で一括管理できる。
- 生徒相互でファイルを閲覧し、コメントを記入することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/eu53pZHPA2M>

# コメント機能を用いて紀行文を吟味する活動

『おくのほそ道』を読み、コメント機能を用いた意見交流によって紀行文を吟味して書くことができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google ドキュメント（編集機能・コメント機能：ファイルへの書込み）
- Google ドライブ（ファイルの共有）

## サービス・アプリの活用イメージ

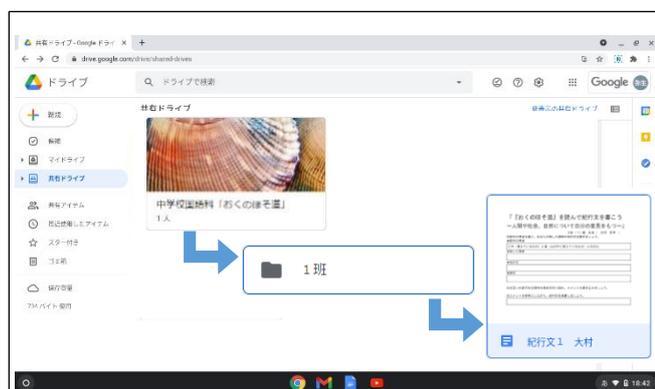
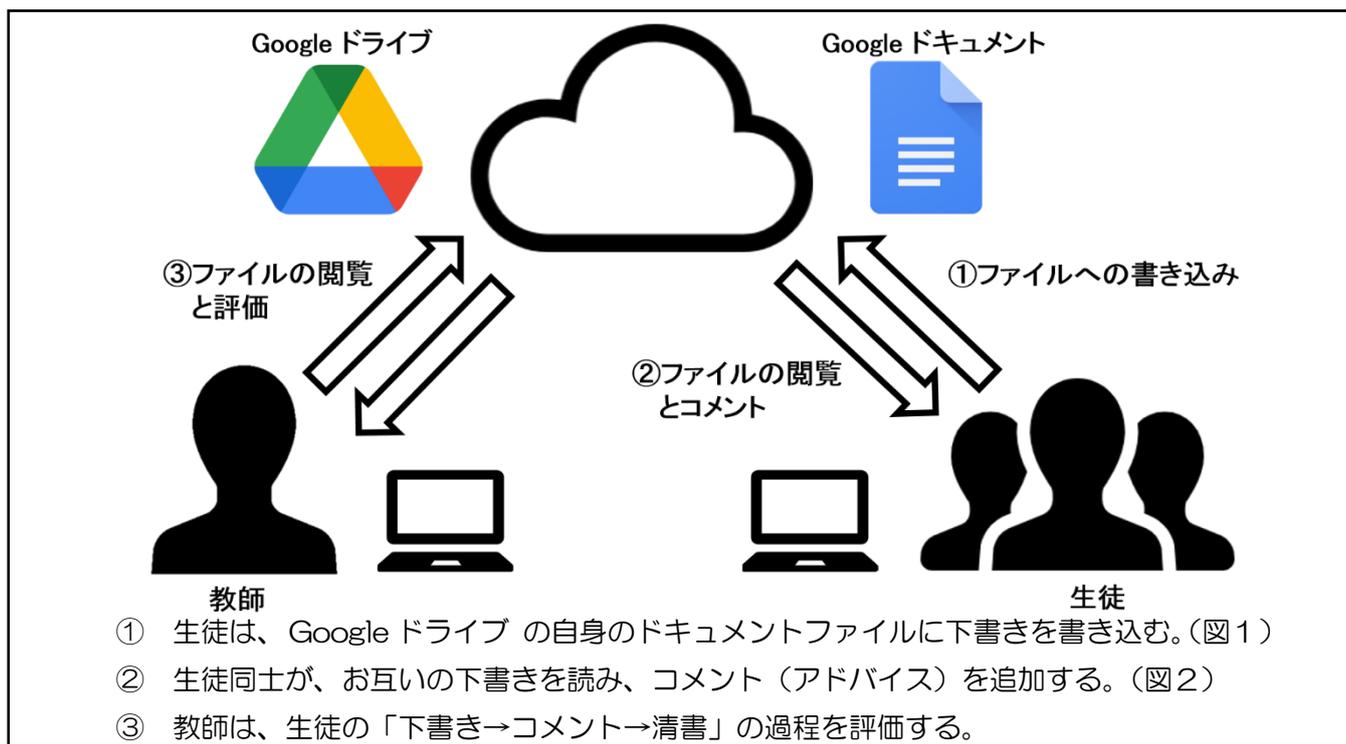


図1



図2

## メリット

- 生徒は、書く作業や修正を容易に繰り返しながら内容を吟味できる。
- 生徒は、Google ドキュメント のコメント機能を利用して、他者のファイルにコメントを追加し合うことで、内容を多面的・多角的に吟味できる。
- 教師は、生徒の吟味の過程を把握しながら評価することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/OQ3c8pRPN9o>

# Google Jamboard の付箋機能を利用した思考

生徒は、撮影した画像について情報を整理しながら思考を可視化し、自分の伝えたいことを表現することができる。

## 使用サービス・アプリ

- カメラ機能
- Google Jamboard（画像の取り込み、付箋機能）

## サービス・アプリの活用イメージ

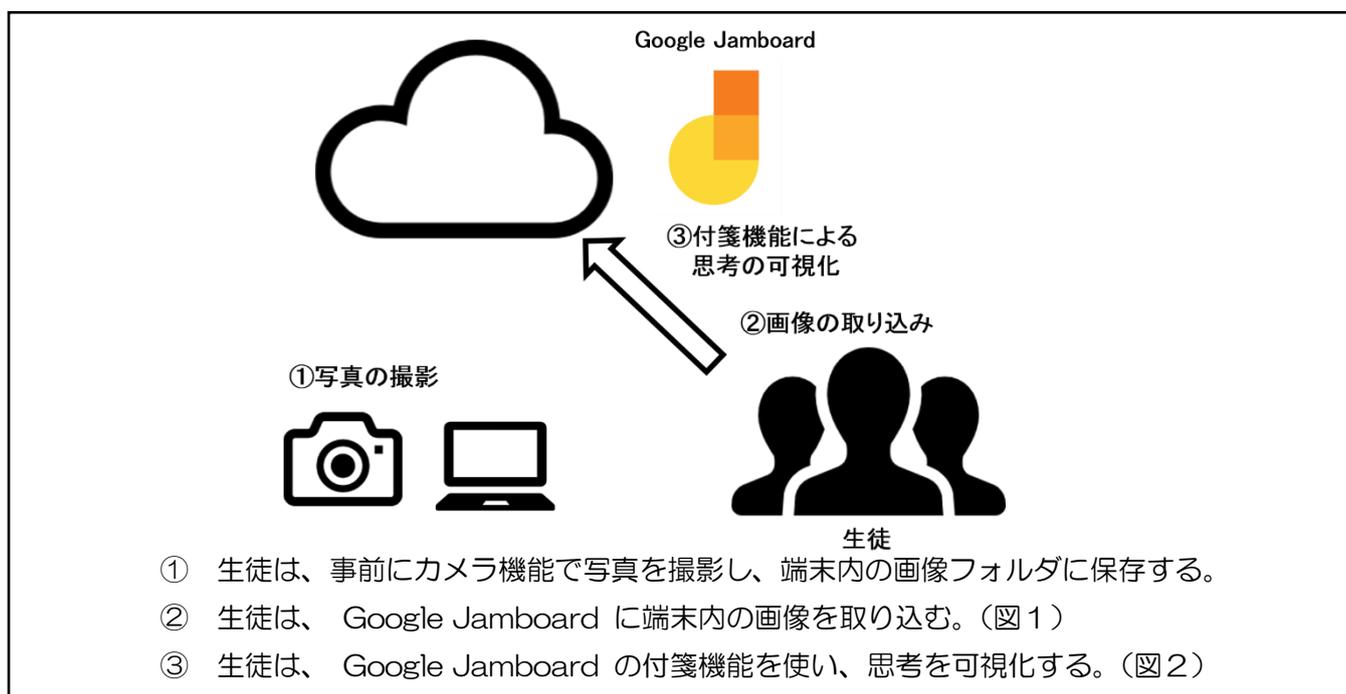


図1

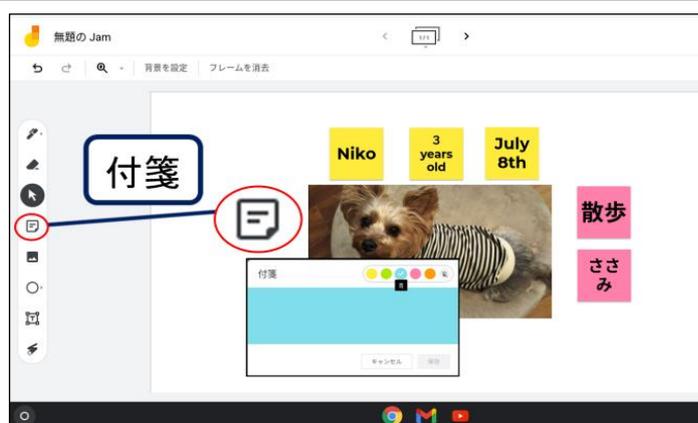


図2

## メリット

- 生徒は、情報を整理して思考を可視化することができる。
- 生徒は、自分の考えを整理し、表現しやすくなる。
- 生徒は、端末を利用することで、付箋に表示した情報の加除修正が容易にできる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/Bwa0jRyUbZ0>

# 共同編集によるスライド教材の作成

Google スライド のファイル共有機能を用いて、スライド教材を同時編集することができる。

## 使用サービス・アプリ

- Google スライド（ファイル共有機能）
- Google ドライブ（共有ドライブ）

## サービス・アプリの活用イメージ

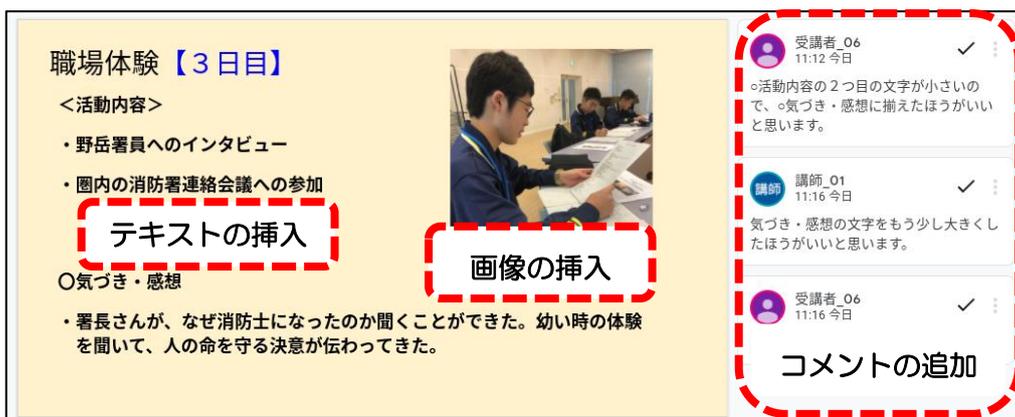
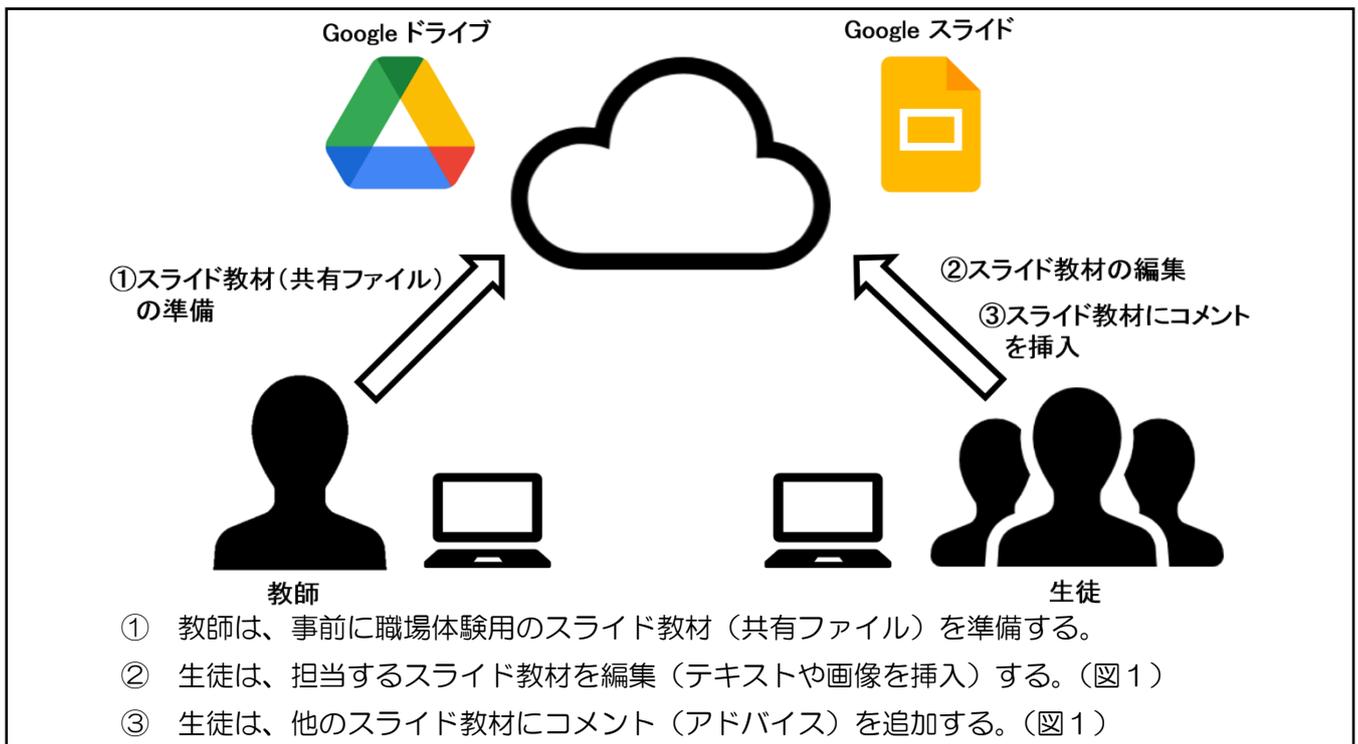


図1

## メリット

- 生徒全員がスライド教材を同時編集することで、作成時間を短縮することができる。
- 生徒は、Google スライド のコメント機能を利用して、他のスライド教材にコメント（アドバイス）を追加することができる。

関連動画はこちら！



<https://youtu.be/GbaPxMIQJAY>

1

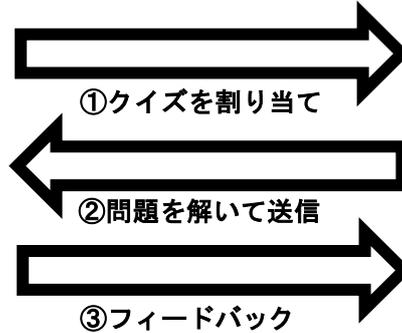
## Forms を使用した小テスト

小テスト（クイズ）で事前知識や学習到達度を確認し、結果を即座に生徒と共有し、授業に生かせる。

使用サービス・アプリ

- Microsoft Forms（クイズの作成、結果の表示）
- Microsoft Teams（クイズの通知）

サービス・アプリの活用イメージ



- ① 教師は、Forms でクイズ（選択肢/記述等）を作成し、その URL を Teams で生徒へ通知する。
- ② 生徒は、端末上で問題を解き、送信する。自動採点され、即座に結果がわかる。
- ③ 教師は、集計される平均点、正答率、解答例（図1）を生徒と共有し、フィードバックする。

3. How many people live in Nagasaki Prefecture? (20 点数)

回答者の 22% (2/9) がこの質問に正解しました。

[詳細](#)

- 900 thousand. 1
- 1.3 million. 2 ✓
- 4.3 million. 5
- 8.2 million. 1



図1

メリット

- 配信、回収、採点の時間と手間を節約できる。
- 誤答が多かった問題があればクラス全体に解説し、弱点を補強することができる。
- エクセル形式で出力し、成績記録の蓄積ができる。

2

## 講義動画を活用した理解の促進

基礎的な教科内容は講義動画を視聴して身に付け、協働学習や個別学習を充実させて理解を深める。

使用サービス・アプリ

- Microsoft Teams（動画ファイルの投稿）
- Microsoft Stream 等（動画ファイルの投稿、視聴）

サービス・アプリの活用イメージ

①各自で動画の視聴



②協働学習や個別学習



- ① 生徒は、端末で講義動画を視聴する。
- ② 生徒は、疑問点を教師に質問したり、他の生徒との議論や意見交換をしたりする。

メリット

- 生徒は、理解できるまで自分のペースで繰り返し動画を視聴できる。
- 生徒が視聴して（課題に取り組んで）いる間に、教師は質問に個別に対応できる。
- 演技や演奏の手本、実験の様子、グラフの動きなど、動画を視聴することで具体的にイメージすることができる。

3

## クラウド上の資料を協働で作成

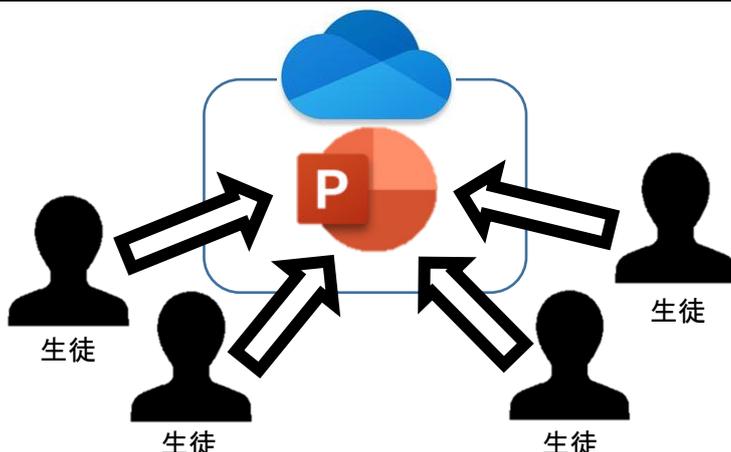
共有フォルダ内のプレゼンテーション資料をそれぞれの端末から協働して編集することができる。

使用サービス・アプリ

- Microsoft PowerPoint など（発表資料の作成）
- OneDrive（ファイルの共有）
- Microsoft Teams（URL の通知）

サービス・アプリの活用イメージ

- 生徒は、OneDrive 上のファイルのリンク先 URL を Teams に投稿して班員に知らせる。
- 班員は、各自の端末からそのファイルにアクセスし、担当するスライドを作成する。
- 作業中のスライドを互いに見合い、助言や質問を通してより良いものにする。



メリット

- インターネット環境があれば、どこからでも編集ができる。
- 他の班員の進捗状況を確認しながら、自分の作業を進めることができる。
- 他の生徒の作品を見て、相互にコメントをするという使い方もできる。

4

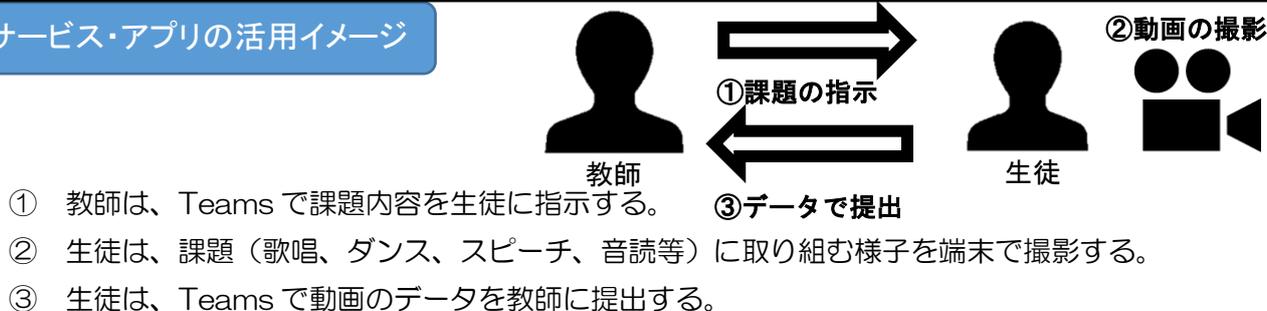
## カメラ機能を用いた課題の提出

生徒がパフォーマンス課題を動画で撮影して提出し、教師はそれを評価や指導に利用することができる。

使用サービス・アプリ

- カメラ機能（動画の撮影）
- Microsoft Teams（課題の指示と提出）

サービス・アプリの活用イメージ



- ① 教師は、Teams で課題内容を生徒に指示する。
- ② 生徒は、課題（歌唱、ダンス、スピーチ、音読等）に取り組む様子を端末で撮影する。
- ③ 生徒は、Teams で動画のデータを教師に提出する。

メリット

- 教師は、他の担当者と評価の基準を相談しながら評価することができる。
- 生徒は、動画を自己評価や相互評価にも使うことができる。
- 在学中に複数回実施しポートフォリオとして蓄積することで、時間経過による生徒の成長や進歩を見取ることができる。

## 思考を整理するアプリを活用したスピーチの学習

思考を整理することができる iPad アプリの機能を使って、自分の考えをまとめたり、わかりやすく発表したりすることに困難のある児童を支援する。

### 使用サービス・アプリ

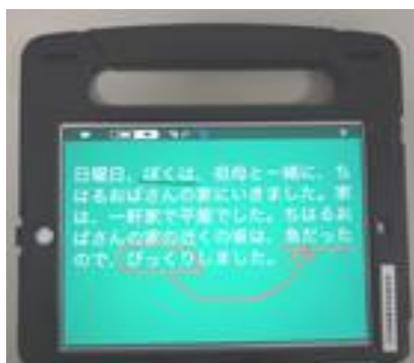
- ロイロノート・スクール (以下、ロイロノート)



- ① 自分の考えを文字や写真、動画などで「カード」に書き出し、それをつなげることで考えをまとめることができる。
- ② 作成した「カード」を教師や児童同士で共有し、考えを深めることができる。



「ロイロノート」画面：線でつないだ順に「カード」をスライド表示



「ロイロノート」画面：「カード」を教師と共有



学習の様子

### サービス・アプリの授業活用

|          |  |
|----------|--|
| ①目標      | ○ 思考を整理するアプリを使って、スピーチする身近な出来事や気持ちをまとめることができる。  |
| ②児童の実態   | ○ 興味のあることを話すことが好き。<br>○ 自分の気持ちや考えを整理して話すことが難しく、また、経験したことや過去の出来事を時系列で話すことが難しい。<br>○ 書字が苦手で、文字を書くことに集中するあまり、内容や構成を考えながら書くことが難しい。 |
| ③活用のポイント | ○ 思考を整理するアプリを使って、話したい内容や気持ちを「カード」で視覚化し、整理しやすくしたり、教師や児童同士で共有したりすることで、伝える内容や自分の考えを深めることができる。                                     |
| ④展開      | 1) 身近な出来事の中からスピーチの内容を決める。<br>2) 「ロイロノート」で、5W1Hに沿って「カード」を作る。<br>3) 「カード」をつなぎ、スピーチの内容をまとめる。<br>4) 作成した文章を教師や児童同士で共有し、文章を完成させる。   |

### メリット

- 頭の中にある自分の考えなどを「カード」で視覚化し、思考を整理したり、時系列で整理したりすることができる。
- 作成した文章や写真などの「カード」を全体で共有しやすく、考えを深めることができる。

## コミュニケーション支援アプリを活用した意思伝達の学習

気持ちを伝える iPad アプリで、発語によるコミュニケーションに困難のある生徒を支援する。意思表示や言葉の学習に使用できる。

### 使用サービス・アプリ

#### 〇えこみゆ



- ① イラストカードをタップすることで、音声でのコミュニケーションの代替ができる。
- ② 200種類の音声付イラストカードがある。
- ③ 好きな写真に音声を録音することで、オリジナル音声付カードが作成できる。



「えこみゆ」画面  
音声付イラストカード



発表の様子

### サービス・アプリの授業活用

|          |   |
|----------|---|
| ①目標      | 〇 コミュニケーション支援アプリを使って、給食のメニューを発表することができる。  |
| ②生徒の実態   | 〇 言語を媒介としたやり取りが苦手であるが、写真やイラストの意味を理解している。<br>〇 iPad 等機器への興味が高く日常的に使用し、一人でスムーズに操作することができる。                              |
| ③活用のポイント | 〇 コミュニケーション支援アプリを使って発表の機会を設けることで、意思伝達などコミュニケーションの意欲につなげる。   |
| ④展開      | 1) 給食のメニューの発表に必要な iPad を準備する。<br>2) 「えこみゆ」のイラストをタップして、イラストと音声で給食メニューを確認し覚える。<br>3) 「えこみゆ」のイラストをタップして、朝の会で給食メニューを発表する。 |

### メリット

- 〇 発語によるコミュニケーションに困難のある生徒が、イラストをタップする操作で、音声での意思伝達ができる。
- 〇 コミュニケーションの意欲向上につなげることができる。

【参考資料】「特別支援学校におけるICT活用の手引」は、本センターWebサイトからダウンロードができます。

[https://www.edu-c.news.ed.jp/?page\\_id=21](https://www.edu-c.news.ed.jp/?page_id=21)



## “未来からの留学生”のために

長崎県教育センター所長 立木 貴文

私が教員になった30年余り前、公用の個人パソコンはなく、多くの教員は手書きや和文タイプ、ワープロ専用機でプリント等を作成していました。インターネットの技術は存在していましたが、私その恩恵を受けるのは、ずっと後のことでした。

時を経て、現在では多くの人々がスマートフォンなどの携帯情報端末を持っています。私たちは音声や動画を含めた世界中のあらゆる情報を自身の手の中に得ることができ、個人が世界に向けて情報発信することも可能になっています。

30年は、振り返っても私たちの日常を大きく変えるために十分な時間です。

AIやIoT、AR、VRなど新しい技術が加速度的に進歩しています。今の子どもたちのたどる“これからの30年”の技術革新や社会の変化は、これまでとは比較にならないほど大きなものになることが予想されます。30年後、今の高校3年生は48歳、小学1年生は36歳にすぎません。平均寿命を考えれば、彼らはさらに30年以上の変化の波をかぶる

ことになります。

子どもたちが自らの未来を切り拓き、変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくために、私たち教員に何ができるのか。

“未来からの留学生”である子どもたちと日々向き合う私たちには、これまで以上の研鑽が求められていると考えます。

info! ながさき 30号をお届けします。

実践事例をできるだけ多く、少しでも早く先生方にお届けするため、今号は増ページと発行の前倒しを図りました。

1人1台端末とネットワーク接続が実現することで、子どもたちの学習は大きく変わります。全員参加の「協働的な学び」や「個別最適な学び」などがキーワードとして示されていますが、できることから始めていきたいものです。

コロナ禍の中での試行錯誤となりますが、“未来からの留学生”のために、教育センターも皆さんとともに研鑽を重ねていきたいと思ひます。

## 研修講座のお知らせ

本センターWebサイトから閲覧・ダウンロードが可能です。

トップページ→研修→教育センター研修講座→研修講座一覧 [https://www.edu-c.news.ed.jp/?page\\_id=25](https://www.edu-c.news.ed.jp/?page_id=25)

| 実施期 | 期日                  | 番号 | 講座名                                   | 対象校種    | 募集状況 | 実施要項・添付資料 |
|-----|---------------------|----|---------------------------------------|---------|------|-----------|
| 第1期 | 4/14(水)<br>-4/28(水) | セ1 | 【eラーニング】県立高等学校初任者研修Ⅰ                  | 高       |      | Download  |
| 第1期 | 4/14(水)<br>-4/28(水) | セ2 | 【eラーニング】県立特別支援学校初任者研修Ⅰ                | 特       |      | Download  |
| 第1期 | 4/22(木)<br>-4/23(金) | セ3 | 県立学校新任教員研修Ⅰ                           | 高 特     |      | Download  |
| 第1期 | 4/23(金)<br>-8/18(金) | セ4 | 【eラーニング】特別支援学校担任及び通級による指導担当者(新任)研修講座① | 小 中 高 特 | 募集終了 | Download  |

スマートフォン等から「研修講座一覧」へ直接アクセスする場合はこちら。 →

校種、希望者、該当者等で絞り込んで表示することができます。

単票（講座の概要）はこちら。

実施要項（講座の詳細）・事前提出資料等はこちら。

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <b>長崎県教育センター</b><br>〒856-0834<br>長崎県大村市玖島1丁目24-2<br><b>学校支援 教員応援</b> | <b>総務課</b><br>電話 0957(53)1131<br>FAX 0957(54)0578 | <b>教科・経営研修課</b><br><b>義務教育研修班</b><br>電話 0957(53)1132<br>FAX 0957(54)6496 | <b>教育支援研修課</b><br><b>特別支援教育研修班</b><br>電話 0957(53)1130<br>FAX 0957(52)9242 |
|  | <b>企画課</b><br>電話 0957(53)1186<br>FAX 0957(53)1190 | <b>高校教育研修班</b><br>電話 0957(54)6341<br>FAX 0957(54)6496                    | <b>教育相談班</b><br>電話 0957(52)9241<br>FAX 0957(52)9242                       |

Google Workspace for Education、Google Classroom、Google ドライブ、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライド、Google Meet、Google フォーム、Google Jamboard、および Google Earth は Google LLC の商標です。